

5年 英語コミュニケーション能力育成のための指導のポイント

月	No	単元名・活動名	単元目標	主な言語材料	コミュニケーション能力育成のためのポイント
4	1	【Lesson 1】 Hello! 世界のいろいろな言葉であいさつをしよう	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に挨拶をしようとする。 英語での挨拶や自分の名前の言い方に慣れ親しむ。 世界には様々な言語があることを知る。 	Hello. My name is~. What's your name? Thank you. Goodbye.	<ul style="list-style-type: none"> “Hello. Nice to meet you.” 初対面の挨拶場面でよく使う決まり文句 “Hi.” 親しい間柄でよく使う言葉 “Hello.” 一般的な呼びかけの言葉 世界の挨拶を音声で聞かせ、実際に聞こえた通りに言わせてみる。聞こえ方が違うが挨拶にこめられた思いに気付かせる。
	2	<ul style="list-style-type: none"> あいさつしよう 名刺交換しよう 			
5	3	【Lesson 2】 I'm happy. ジェスチャーをつけてあいさつしよう	<ul style="list-style-type: none"> 表情やジェスチャーをつけて相手に感情や様子を積極的に伝えようとする。 感情や様子を表したり尋ねたりする表現に慣れ親しむ。 表情やジェスチャーなどの言葉によらないコミュニケーションの大切さや世界には様々なジェスチャーがあることに気付く。 	How are you? I'm happy.	<ul style="list-style-type: none"> アイコンタクトや言葉の大きさ・抑揚などとともに、表現やジェスチャーを活用することで、相手に、より自分の思いが伝わることを理解させる。
	4	<ul style="list-style-type: none"> ジェスチャーで伝えよう ジェスチャーであいさつしよう 			
6	5	【Lesson 3】 How many? いろいろなものを数えよう	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に数を数えたり、尋ねたりしようとする。 1～20の数の言い方や数の尋ね方に慣れ親しむ。 言語には、それぞれの特色があることを知る。 	How many pencils? Five pencils.	<ul style="list-style-type: none"> 自分の目的である友達を見つけることができた喜びや児童同士の一体感を味わわせ、児童が自信をもってコミュニケーションを図ることができる活動にすることが大切である
	6	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな国の数の数え方を知ろう 数えてみよう ・数字クイズをしよう 数を使ってゲームをしよう 			
7	7	【Lesson 4】 I like apples. 好きなものを伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> 好きなものや嫌いなものについて、積極的に伝えようとする。 好きなものや嫌いなものを表したり尋ねたりする表現に慣れ親しむ。 日本語と英語の音の違いに気付く。 	Do you like ~ ? Yes,I do./No,I don't. I like ~ . I don't like ~.	<ul style="list-style-type: none"> 複数形や単数形を意識させる必要はなく、自然な言い方で何度も聞かせる。 インタビューの活動後は、友達の意外な一面を知ることが相互理解につながることに気付かせ、もっと知りたいという気持ちをもたせる。
	8				
9	14	【Lesson 5】 What do you like? 友達にインタビューしよう	<ul style="list-style-type: none"> 好きなものについて、積極的に尋ねたり答えたりしようとする。 色や形の言い方や、好きなものは何かを尋ねる表現に慣れ親しむ。 日本語と英語の音の違いに気付く。 	What do you like? What animal do you like? I like ~.	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の中の外来語とそのもとなる英語の音の違いに気付かせる。 “~please.” “Here you are.” “Thank you.” 2人のやり取りでは、気持ちよくコミュニケーションするための大切な言葉がけであることを知らせ、あたたかい雰囲気をつくる。 児童が積極的に尋ねたり答えたりしながら、それぞれ人によって好みが違うことや、友達の新たな面を知ることを通して、言葉は人を理解するための手段であることを感じとらせる。 児童の具体的な姿を認めほめることで、児童に気持ちのよいコミュニケーションはどのようなものかを考えさせ活動の質を高める。
	15	<ul style="list-style-type: none"> 何色かな？ どんな形かな？ どんな〇〇が好きですか？ 好きな物を尋ねたり答えたりしよう 友達にインタビューしよう 			
10	16	17	<ul style="list-style-type: none"> 積極的にアルファベットの大文字を読んだり、欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。 アルファベットの文字とその読み方とを一致させ、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 身の回りにアルファベットの大文字で表現されているものがあることに気付く。 	What do you want? The“A” card, please.	<ul style="list-style-type: none"> 文字の指導については、音声によるコミュニケーションを中心とする。
	18				
11	21	【Lesson 7】 What's this? クイズ大会をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ある物について、積極的にそれが何かと尋ねたり答えたりしようとする。 ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 日本語と英語の共通点や相違点から、言葉の面白さに気付く。 	What's this? It's a ~.	<ul style="list-style-type: none"> 日本語と同様に、同じ発音で違うものを表す語（同音異義語）があることに触れ、日本語と英語の類似点から言葉の面白さに気付かせる。
	22				
12	27	【Lesson 8】 I study Japanese. 「夢の時間割」を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> 時間割について積極的に尋ねたり答えたりしようとする。 時間割についての表現や尋ね方に慣れ親しむ。 世界の小学校の学校生活に興味をもつ。 	What do you study on~? I study ~ on ~.	<ul style="list-style-type: none"> 児童に自己選択や自己決定させることで、それを伝えたい、他の人の考えも聞きたいという必要感をもたせることがポイントで、それを選んだ理由も明確にして交流させる。
	28	<ul style="list-style-type: none"> 何曜日？何の教科？ いろいろな国の学校生活 ～曜日は何の勉強？ 時間割りを伝え合おう 夢の時間割りを作ろう 			
1	29	30	<ul style="list-style-type: none"> 欲しいものについて丁寧に積極的に尋ねたり答えたりしようとする。 欲しいものについての丁寧な表現の仕方や尋ね方に慣れ親しむ。 世界の料理に興味をもち、欲しいものを尋ねたり言ったりする際、丁寧な表現があることに気付く。 	What would you like? I'd like ~.	<ul style="list-style-type: none"> “What do you want?” と “What would you like?” の表現の違いを考えさせ、使われている場面に注目させる。 目的をもって “What would you like?” “I'd like ~.” を使ったコミュニケーションをすることをねらう。 外来語とそのものの英語との音の違いから、日本語と英語との音の違いに気付かせる。
	31				
2	32	【Lesson 9】 What would you like? ランチメニューを作ろう	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧な言い方を知ろう 丁寧な言い方でフルーツパフェを作ろう 	What would you like? I'd like ~.	<ul style="list-style-type: none"> 世界の国の料理でメニューを考えよう ランチメニューから尋ねよう
	33	<ul style="list-style-type: none"> 世界の国の料理でメニューを考えよう ランチメニューから尋ねよう 			
3	34	35			